第 127号

2017年4月

ラルーラ通信

<発行>中部学院大学 中部学院大学 子ども家庭支援センター 〒504-0837 岐阜県 各務原市那加甥田町30-1 TeLO58-375-3605 faxO58-375-3609



未来のひとたちに願うこと

中部学院大学短期大学部 教授 子ども家庭支援センター長 白幡 久美子

今年は、天候不順で春のうららかな日が少なく感じられます。午前中は穏やかな日差しでも急に風が吹き気温が急降下する事も多いように思われます。幼いお子さんにも厳しい天候となっています。

さて、このような過ごしにくくなってきた日本で、どのようにこれからの子どもの成長を見守っていったら良いのでしょうか。

数年前に、デンマークの冬に複数の保育施設を訪問しました。私がこの国の子育てでぜひ自分の目で確かめたいと思っていたことの一つが、乳幼児の午睡の方法でした。保育書籍で得た知識によれば、デンマークではベビーカーの中で午睡をさせるというのです。これは、過去の子育て方法なのか、現在もなお続いている事なのかこの目で確かめたいというおもいがあったからです。

真冬の寒いときですとマイナス 20 度ほどになるこの国ですが、外での昼寝は当たり前に行われていました。この事実は、最近複数の日本のテレビ番組でも取り上げられているのでご存じの日本の方も多くなりました。

家の庭ないし屋外の大きな小屋で昼寝をしている赤ちゃん。日本では想像できませんよね。現地の保育士さんの言によれば、寒さ厳しい土地で生き抜くために必要だということです。マイナス 15 度位までは、お昼寝は外気のもととのことです。家庭だけではなく、保育所でも勿論同様です。

ベビーカーといってもとても頑丈な物です。ベットのように寝かせながら移動できるベビーカーなのです。スーパーへの買い物もベビーカーのまま、楽に移動できます。簡易な布団が入っています。このほかにも当地でのポジティブな子育てに、感動がたくさんありました。

これからの未来を担うにひとたちに、さまざまな困難を克服する力を付けていく事も大切だと実感した次第です。

桜の名所として知られる各務原キャンパス近くの新境川は、毎年お花見で賑わいます。

多くのご家族が花の下でお弁当を広げて楽しんでいらっしゃいます。この様子を眺めているだけでも心 豊かになります。

四季折々の自然を楽しむことのできる「学びの森」に隣接するラ・ルーラ。ここで今年度も皆様が交流を広げ情報交換しつつ、より楽しい子育てをしてくださることを願っています。



2017 年度 活動計画



通常活動内の特別活動の設置

週替わりのコーナー(遊具)の設置

カプラ・新聞プール・レゴブロック(デュプロ) 伝承遊び(コマ、お手玉など)他。 通常の遊具に加え、週単位での「遊びコーナー」の設置をします。

通常設置遊具に加え 遊びが広がるような 遊具を中心に提案 します

製作コーナーの設置(曜日設定)

火・土曜日は製作の日。ままごとのコーナーを縮小し、製作コーナーを設置します。 はさみ・セロテープ・のり・サインペンなどの製作道具を準備。大きな材料箱にお菓子のパッケージ や牛乳パックなど様々な廃材を準備し自由に使えるように整えています。

お話の時間 (絵本を中心とした読み聞かせ)毎日11時頃

その日のお子さんの様子や年齢などに応じた内容を決め 読み聞かせをします。

年齢が少し大きな お子さんに人気です 思い切り製作を 楽しめるよう材料・用具を 用意しています

親子サロンの開設 定期的に行う催し

「あそび広場 [] 毎月1回:1~3歳児と保護者対象

「ママと一緒に」がキーワード。新聞紙遊び・布遊び・風船あそびなど 親子遊びを中心にじっくり親子で向き合って楽しみます。家庭ではできない ようなダイナミックな遊びも少しずつプログラムに入れていきます。



やってみたいことも

「あそび広場 II」 毎月1回:1~5歳児と保護者対象

親子遊びを楽しみながら友達も意識できるような遊びのプログラムを 組んでいきます。戸外遊びを中心に、散歩・ボール遊び・草すべり・虫取り どろんこ遊びなどいろいろな遊びを楽しみます。

「親子でクッキング」 プログラムの中にクッキングも取り入れます。

「調理する」というほどの内容ではありませんが「自分(親子)で作って食べる」を基本に「(調理しながら)美味しい匂いを感じる」「素材そのものの味を楽しむ」を楽しみます。



「いいにおい…」 「おいしい!」を 楽しみましょう



<u>「作って遊ぼう」</u> 毎週:

毎週土曜日:3~5歳児と保護者対象

「パパとママと一緒に作る」がキーワード。

親子で一緒に遊べるおもちゃを作って楽しい時間を過ごします。 紙飛行機・けん玉・割り箸鉄砲など幼稚園がお休みの土曜日開催。



「赤ちゃん集まれ!」 毎月1回:0歳児の赤ちゃんと保護者

「子育て仲間作り」がキーワード。赤ちゃん用の絵本の紹介や身の回りの廃材を 使って月齢に合わせたおもちゃを作りながら おしゃべりをして交流します。



「誕生会」 毎月1回: 当月生まれのお子さん



誕生カードを事前に一緒に作りながら当日を迎えて、みんなでお祝いします。 お子さんだけではなく、パパママもお祝いします。

お母さんのリフレッシュタイム

ママの満足度 NO1! 達成感も大幅アップの プログラムで 内容も充実しています

「お母さんのためのリフレッシュ講座」 毎月1回:母親のための趣味の講座

子どもと関わりながら私時間の持ち方を身につけ、作品を仕上げて 充実感を味わえる講座です。(帽子作り・グリーティンイグカード・編み物・布袋物など)

季節の行事・遊び

七夕(笹飾り)・夏祭り・砂場デッキでの水遊び・虫取り遊び・自然散策 芋掘り・クリスマス会・節分(豆まき)・入学、入園を祝う会等

子育て実践プログラム(子育て講座)

本学教職員による 子育てに関する講義およびワークショップ。子どもを生み育てる喜びや、発 達支援のあり方などを専門性豊かなそれぞれの分野の専門家が担当します。

学生が実習に入ります

「ラ・ルーラ」は子ども家庭支援センターとして中部学院大学の付属の施設ですので、 他の施設と大きく違うところは先生方が研修室として活用されたり、学生が実習の場とし て利用したりするところです。

今年度は最初の実習として、教育学部 1 年生の「子育て支援の基礎」・教育学部 3 年 「地 域子育て支援実習」など保育発達支援コースの学生が主に土曜日に。短期大学部幼児教育 学科の学生も主に水曜日にう・ルーラにて実習に入ります。新しい遊びの提案が出来たり 楽しい時間が過ごせそうです。よろしくお願いいたします。







子育て情報

便利グッズ見い一つけた!

外食に出かけた時や離乳食の時に役立ちそうな 「肉きりハサミ」を見つけました。

肉を食べやすく切るためのハサミですが、小さなお子さんを連 れての外食時に持って行ったら便利です。ハサミの片刃がギザ刃 でギザギザなので麺などもしっかり切れます。(介護食にも使え そうです) また分解も出来るので食器洗い乾燥機にも対応してお り衛生的です。(実物はラ・ルーラにあります。良かったらどうぞ)

子育て情報をいろいろ記載していきます。 次回をお楽しみに!

ハサミの片刃が 「ギザ刃」なので 食物が滑らず しっかり切れます







くラ・ルーラ開設日><u>火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)</u>



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

5 月の予定							
В	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	<mark>6</mark> 作って遊ほ 11:00~12	
7	8	9	10 あそびの広場 I 11:00~11:45	11	12	13	
14	15	16	17 あそびの広場II 11:00~11:45	18	19 移動図書館 11:00~	20	
21	22	23 11:00頃~ お母さんのための リフレッシュ講座	24	25 赤ちゃん集まれ 11:00~11:45		27	
28	29	30	31				7



5月の行事 * 内容紹介



10日 あそびの広場 [(1~3歳児対象) 「ボールあそび」

「ママと一緒」がキーワード。今回の遊具はボールです。大小様々なボールを準備し それぞれのお子さんのペースで親子一緒にじっくり遊びましょう。

毎週土曜日 作って遊ぼう 工作遊び 「 パラシュート作り 」

カラフルなパラシュート使って遊びましょう! 簡単に出来ますので親子で一緒に作ってたった一つのオリジナル作品を作りましょう。

17日 あそびの広場Ⅱ (1~5歳児対象) 「おにぎり作って ミニ遠足」

調理室にて 白米を炊いておにぎりを作り、それを持って学びの森(広大な芝生の公園) へみんなでミニ遠足へ出かけます。

19日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

23日 お母さんのためのリフレッシュ講座 「お手軽巾着作り」

お気に入りのハンカチやクロスなどを利用して 巾着袋を作ります。 布の四隅を縫うだけの簡単な作業です。詳細はスタッフまでお尋ねください。

25日 赤ちゃん集まれ (O歳児対象) 親子ふれあい遊び & 交流

26日 誕生会 5月生まれのお友達を みんなで祝います。

火曜日曜日または金曜日(詳細未定) 吹奏学部の学生によるランチタイムコンサート

尚、各行事・催しは定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。 催しに参加されない方は申し込みの必要はありません。いつでもご自由におこしください。 お問い合わせ先 TEL: 058-375-3605 FAX: 058-375-3609

